



空港ライナー（無料タクシー）出発 10/1

肥後大津駅南口ビジターセンター完成。阿蘇くまもと空港間無料タクシー事業はじまる（熊本県）

子育て健康広場整備・まちづくり交流センター新築契約 足りない保育所：新たにもう一箇所開設へ

9月定例会を8日から20日まで13日間の会期で開きました。

23年度一般会計他補正予算、町道認定、条例改正など15議案を審議。

最終日に「子育て健康広場整備」（仮称）まちづくり交流センター新築」に関する請負契約の締結、教育委員会委員の任命同意2件について審議しました。

また22年度一般会計他特別会計等の決算9議案を3常任委員会に付託審査しました。

所管の議案に対する現地調査を初日、2日目にかけて行い、審議の結果、全ての議案、決算認定、人事同意について賛成全員、一部を賛成多数で可決しました。請願・陳情8件のうち3件を採択、政府等に対する意見書4件を可決しました。

23年度補正予算の 主な内容

歳 出

保育所新設補助に
1億3320万円

子育て健康広場内に太陽光発電器設置2500万円、グループホーム設備、開設補助840万円、旧57号線沿いの街灯設置増に1000万円、旧法

務局を歴史・文化伝承に活用するための工事費700万円等が計上されました。乳幼児や保育希望家庭の増加にともない、県の保育所新設補助に町財源も含めて1億3320万円を計上しています。

22年度会計決算額

会計項目	歳 入	歳 出
一般会計	112億 449万円	108億1,912万円
国民健康保険	29億4,895万円	27億8,541万円
老人保健	801万円	801万円
介護保険	19億7,900万円	18億9,766万円
後期高齢者医療	2億3,681万円	2億3,514万円
公共下水道	11億5,414万円	11億3,394万円
農業集落排水	4億4,306万円	4億3,069万円
大津町他4ヶ市町村共有財産管理処分事務受託	1,230万円	857万円
工業用水道事業会計	5,597万円	4,089万円

主な条例制定・改正

○大津町ビジターセンター設置および管理に関する条例

○大津町立学校設置条例の一部改正
美咲野小学校に決定

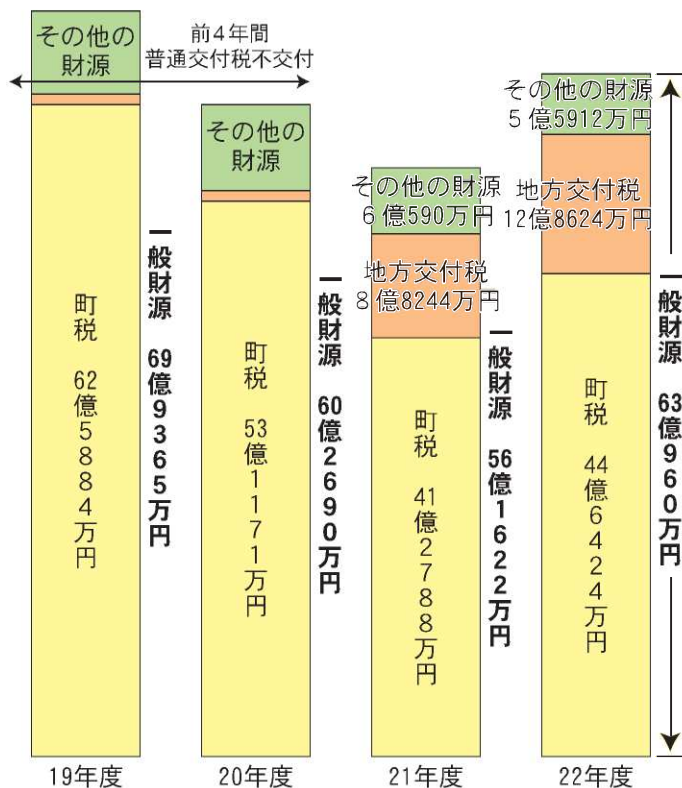
人事同意（敬称略）

○大津町教育委員会委員
笠 博典 新任
首藤 誠治 新任

一般財源 6億9千万円 増加(21年度比)

法人税3億4千万円増・個人は1億2千万円減

63億1千万円 22年度決算



一般財源（町税＋交付税等）の推移

一般財源は自治体が自由に使える財源

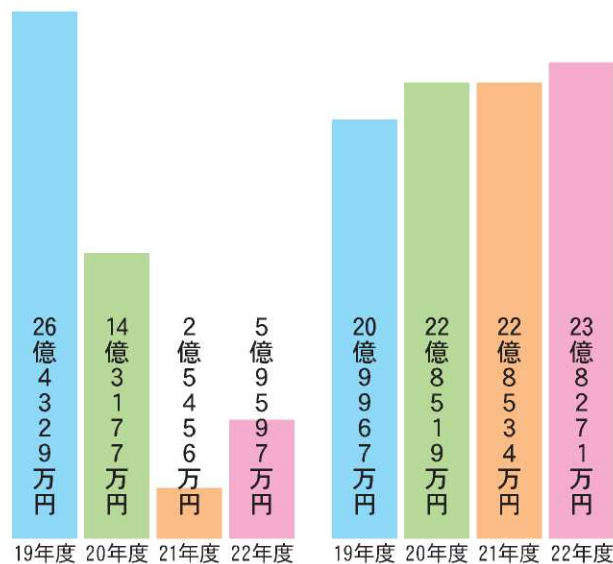
基金・地方債の推移(一般会計)

年度	残高
19	58億7960万円
20	51億1375万円
21	36億2026万円
22	40億3470万円

年度	残高
19	98億9115万円
20	100億9309万円
21	98億8155万円
22	104億8367万円



個人町民税



法人町民税

固定資産税

22年度会計決算審査

22年度各会計決算認定にあたり、3常任委員会で現地調査を行い、一般会計、特別会計などを審査しました。

22年度一般会計の歳入総額は112億449万円、前年度比で△10億2175万円となりました。歳入のうち自主財源の柱である町税収入は44億6424万円、前年度比3億366万円増になり、地方交付税は12億8624万円、前年度比8624万円増です。

4億円増えました。町税と地方交付税、その他の財源の合計一般財源は63億960万円となり、リーマンショックで最悪となった21年度より6億9000万円上回り、歳入の安定化につながっています。町税の内訳で見ると固定資産税が約1億円増。法人町民税が3億4000万円増加しましたが、かつての勢いはありません。問題は、人口が3万人

を突破して増加しているのに、個人町民税が約1億2000万円も減額となっていることです。労働者の給与・賃金が低下していることの表れと言えるでしょう。一般会計他8特別会計等の決算審査によって、3常任委員会で、事業の成果についての評価や意見をまとめて、執行部に反省や来年度の行政への反映を求めていくことになります。